

令和によみがえる治安維持法 ～「スパイ防止法」を斬る～

日時 2026年2月3日(火) 18:30～20:30
(18:15 接続開始)

会場 Zoomによるオンライン開催(100名)

参加費 800円(Peatix を通じて支払い)

講師： 海渡 雄一 弁護士



<プロフィール> 1955年、兵庫県生まれ。1981年弁護士登録。第二東京弁護士会所属。元日弁連事務総長。日弁連秘密保本法制対策本部副本部長・同共謀罪法案対策本部副本部長、監獄人権センター代表。30年以上にわたり労働事件、原発訴訟などの環境事件、監獄訴訟などの人権事件に携わる。主な著書：『原発訴訟』(岩波新書)、『秘密保本法対策マニュアル』(岩波ブックレット)、『戦争する国の作り方』(彩流社)

【セミナー内容】2025年参院選の公約にいわゆる「スパイ防止法」を掲げた国民民主党と参政党は、衆議院と参議院にそれぞれ法案を既に提出しました。安倍政権時代には勝共連合の運動で特定秘密保護法が成立し、2022年には経済安保法も成立しています。今回野党が法案を出したことで、「スパイ防止法」の制定の危険が迫っています。なぜ今、何の目的で成立させたいのか。参政党神谷代表は、公務員の中の「極端な思想の人たち」を「洗い出す」のが「スパイ防止法」だと演説していました。また、同代表は戦前の治安維持法を「共産主義を取り締まるため」と強調したほか、「ジェンダー平等、ダイバーシティ推進、多文化共生」を共産主義の「文化的変種」と呼び、これらの思想を取り締まる必要性があると「質問主意書」を提出しています。これは憲法の保障する思想・信条の自由と表現の自由に対する危険な挑戦であり、これらの人権を前提とする民主主義を破壊しようとするたくらみといえます。こうした動きは、戦前の治安維持法を復活させ、「戦争する国」へと加速させようとする動きではないでしょうか。「スパイ防止法」がいかにかに人権を蹂躪するものであるか、ともに学習して理解を深めていきましょう。

お申し込み方法

以下のフォームから
事前にお申し込みください。

<https://iwylg-kenpou20260203.peatix.com>
Peatixにより参加費をお支払いいただきますと、参加者用 Zoom URL が送信されます。また、前日に講師資料を配信させていただきます。
ご質問等がありましたら、下記にお問い合わせください。

第4回セミナー事務局：BQX01164@nifty.com

2月1日(日)まで



QRコードからも申し込み可能